

公民館から

◇ 第6回「思い出の1曲」ミニコンサート

レコード盤等をお持ちいただき、当時の思い出を語っていただきながら、音楽を楽しみます。

日時：2月7日（水）18：00～
会場：堅粕公民館 講堂



◇ グラウンドゴルフ教室

共催：体育振興会

日時：2月18日（日）9：30 選手集合（雨天中止）
会場：堅粕小学校 校庭
構成：各町3チームまで、1チーム3名（小学生～大人）
参加の申込みは、町内会長か町内の体育委員へ

◇ 手軽でかんたん料理教室

共催：食進会

～身近な食材で手早く、簡単な料理～
（缶詰・乾物・冷凍野菜など）

日時：2月21日（水）10：00～
会場：堅粕公民館 講堂
会費：500円
定員：20名



※申込締切は2月17日ですが、定員になり次第締切ります。
申込み、問合せは堅粕公民館（092-473-6010）まで

◇ 乳幼児ふれあいおはなし会

日時：2月22日（木）11：00～
会場：堅粕公民館 講堂
対象：乳幼児と保護者
※ 事前申込みはいりません。



◇ 乳幼児ふれあい学級 防災人形劇

博多あんあんリーダー会の防災士による人形劇とミニ講話

日時：2月29日（木）11：00～
会場：堅粕公民館 講堂
対象：乳幼児と保護者
※ 申込み、問合せは堅粕公民館（092-473-6010）まで

公民館からのお知らせ

◇ 臨時休館について…2月25日（日）

この日の利用申込みをされる場合は、2月15日（木）まで
をお願いします。

自治協・各種団体から

◇ 子育てサロン「どうさん広場」

主催：社会福祉協議会

日時：2月1日（木）10：00～12：00
会場：堅粕公民館 講堂
内容：乳幼児と保護者のフリースペースです。
11：00から、さんかん狩りに行きます。



◇ ととくらぶ（毎月第3土曜日開催）

主催：男女共同参画協議会

日時：2月17日（土）10：00～12：00
会場：堅粕公民館 講堂
内容：乳幼児とパパの遊び場。
パパと一緒にママもOKです。



◇ 母子巡回健康相談

日時：2月16日（金）受付 9：30～10：00
会場：堅粕公民館 講堂
対象：妊産婦・乳幼児とその保護者
内容：身体測定・全身観察・育児相談・ミニ講話
※ 予約は不要です。母子健康手帳をお持ちください。
問合せは博多区地域保健福祉課 地域保健福祉係
TEL 092-419-1100 FAX 092-402-1169

主催：衛生連合会

◇ 第4回堅粕校区健康づくり教室

～認知症サポーター養成講座 応用編～

日時：2月21日（水）13：30～15：00
会場：堅粕公民館 講堂
内容：「ユマニチュードを知ろう」
～認知症の方が安心できる対応について～
※ 関心のある方ならどなたでもどうぞ。
事前の申込みはいりません。

主催：高齢者の会

◇ 第2回 高齢者の会ふれあいカラオケ会

日時：2月27日（火）12：00～15：00
会場：ジャンカラ博多駅筑紫口店（博多駅東1-12-12）
参加費：一人500円程度で現在計画中です。

令和5年分 確定申告

スマホ×マイナンバーカード e-Taxが便利!

- 事前準備
スマホ*1があればICカードリーダーは不要
- 申告書作成
医療費やふるさと納税などの情報を自動入力
- データ提出
税務署への持参・郵送不要、添付書類*2も不要
- 申告後
いつでも申告データの確認・印刷が可能



申告納税 所得税および復興特別所得税・贈与税 令和6年 3月15日(金)まで
消費税および地方消費税(個人事業者) 令和6年 4月1日(月)まで

確定申告会場への入場には整理券が必要。申告書の提出のみの場合は不要です。

詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。

館長のつがやき

～ 「飛梅」といえば… ～

いよいよ受験シーズンに入り、太宰府天満宮は合格祈願する受験生でにぎわっており、また、太宰府天満宮のご神木『飛梅』が、今年は去年より11日早い1月12日に開花し、今年は1月下旬～3月上旬が見ごろとのこと。

飛梅伝説は皆さんよくご存じだと思いますが、左遷された菅原道真公を追って、一晩で京都から大宰府に飛んでいき、根付いたと言われています。

この伝説の由来もあり、「飛梅」という言葉は愛称や名称に使われますが、私が一番に思いつくのは、修学旅行専用列車の「とびうめ号」で、ご記憶にある方は60歳以上であるのは間違いないでしょう。

当時の国鉄が導入し、気動車（ディーゼルカー）でしたが、昭和49年に廃止されるまでに、関西や九州内の修学旅行で約37万人の利用があったそうです。

鉄ヲタの私にとって、「とびうめ号」で宮崎・鹿児島への修学旅行へ行ったのが、何よりも記憶に残る「飛梅」なので、その後、高校生になり古文の授業で「東風吹かば～」の和歌を学びましたが、深い意味を鑑賞できる力もなく、こんなことから、道真公に合格の願いも届いたのだろうと、この年齢になっても、飛梅開花のニュースを見ながら悔いることしきりなのです…。